

〈議会報告〉 2020年12月3日、日本共産党春日部市議団

1 2月定例議会 春日部市教職員組合提出

## 早期に「少人数学級」の実施を求める 国への意見書提出に関する請願 教育環境常任委員会で採択

12月2日（水）、市議会教育環境常任委員会で、賛成多数で「採択されました。

賛成討論で、松本ひろかず議員は

「こどもの安全は最優先です。

新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守り、ひとりひとりに行き届いた丁寧な教育をするためには、現在の40人学級を一日も早く、少人数学級にすることが、保護者、教職員など党派をこえて強く求められています。

この請願は、現場の教職員から提出されたものであり、切実な要望です。

よって、この請願は採択すべきです。」と主張し、採択を求めました。

賛成は、日本共産党1名、新政の会2名、公明党1名の4名。反対派、前進かすかべ未来の会2名、無所属1名の3名でした。委員長は公明党議員です。

最終的には15日の本会議で採決が行われます。請願文書は、下記の通りです。

件名

早期に「少人数学級」の実施を求める国への意見書提出に関する請願

要旨

コロナ禍の中で40人学級では感染防止は困難であり、子どもたちの安心・安全を守り、一人ひとりにきめの細かい指導を保障していくために、早期に「少人数学級」の実施を求める国への意見書を提出していただきたい。

理由

国の小・中学校学級編成基準は、小1以外40人学級と長年変わらないままです。埼玉県の場合は、小1・小2が35人、中1が38人に改善されました。

春日部市では、平成21年の9月市議会で、「少人数学級」の実施を求める請願が採択されています。欧米諸国は20～25人であり、日本は平均児童生徒数でOECD加盟国中（2019年データ）小学校はワースト2、中学校は最下位です。

コロナ禍の一律休校の後の分散登校では、クラスを半分ずつの20人学級だったので、子どもたちから「密にならずに安心だった」「勉強がよく分かった」「落ち着いて生活することができた」という声をたくさん聞くことができました。現在は40人学級に戻っており、学校現場では感染予防のために様々な工夫をしていますが、教室の密集度だけはどうしてもならず、身体的距離を保つことは到底できません。

ウィズコロナの「新しい生活」の中でこそ、子どもたちが安心して登校でき、教職員が一人ひとりにきめ細かな指導ができるよう、教育効果の高い少人数学級が必要です。全国知事会・全国市長会・全国町村会の首長3団体が「少人数学級、早期導入」の緊急提言を文部科学相に提出し、自民党の教育再生実行本部も「30人学級の推進」を求める決議を文部科学相に提出しました。子ども、保護者、教職員の願いは、全国の首長や与野党を含め、「少人数学級」の早期実現です。

よって、春日部市議会でも、早期に「少人数学級」の実施を求める意見書を国に提出していただくようお願いいたします。

地方自治法第124条の規定により、上記の通り請願書を提出します。

令和2年11月16日

請願者 代表 春日部市谷原1-12-2

春日部市教職員組合委員長 小菅 昇